

事業計画書

令和6年度

施設名 本牧地区センター

指定管理者 株式会社 清光社

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(1) 施設の管理運営について

令和5年度の基本理念を踏襲しながら、新しい取り組みを実施します。

① 基本理念について

当社は、市や区のパートナーの指定管理者として、「横浜市地区センター条例」の設置目的や「中区区政運営方針(令和5年度版)」等の関連施策を理解し、施設機能を十分理解した上で、区民の信頼にこたえられるよう、地区センターの設置目的と区政運営方針への貢献に向けた管理運営を行います。

昨今、コロナ後も少子高齢化や地域交流、人間関係の希薄化等が引き続き問題となっており、一人ひとりが安全にいきいきと健康的に暮らすことやまちの魅力を発見・発信し、次代を担う世代に継承していくことが益々重要になってきています。

地区センターは「住民の福祉を増進する施設」「住民の利用に供するための施設」であり「住民サービスを行うための主要な手段」であることを念頭に置いて、公平公正な管理を軸とし、事業の効率性及び利用者サービスの向上を目指します。

② 予算の執行について

令和5年度の遂行状況をレビューし、予算計画の見直しと適正化を図り、「年間収支計画」を策定し、指定管理経費の変動に耐えられるコスト管理を実施します。特に幅広い分野で物価高騰が本格化してきたため、支出増に対する管理を徹底し、収入と支出のバランス管理を迅速に行うことにより、ただ単に経費を削減するだけではなく、利用者サービス向上につながる経費に関しては適切な費用をかけつつも、効率的な取組を行い、それ以外の経費に関しては弊社のスケールメリットを活かして積極的に削減するよう取り組みます。

③ サービスのあり方について

利用者サービスとは、利用者ニーズに応えることで向上するものでありますが、利用者数に反映しなければ、実施した労力が意味をなさないものになってしまいます。①ネットに不慣れな方への対応(令和5年6月利用分からネット予約システム導入)②研修を通じたスタッフの接遇レベルの向上③各種マニュアルに基づいた公平なサービスの提供④適時適切な情報発信(Web、広報媒体の活用等)を推進します。利用者サービスを実施する場合には、アンケート等を活用し、利用者ニーズを的確に把握し、入念な実施計画を作成し実行します。

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

当施設周辺地区においては、老年人口が一貫して増加傾向にあると同時に、若い世代や子育て世代を含む、比較的新しい住民が多く居住されており、そうした住民の施設利用が今後増加することが想定されます。このような地域特性の中で、地域の絆や、つながりを醸成して地域を活性化するために、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした、住民の相互交流を生み出す自主事業やサービス提供が求められます。ゆえに、当センターでは、誰もが気軽に楽しみ相互交流を生み出せる「情報交流型活動拠点」としての機能を充実させるとともに、ユニバーサルサービスの導入等で誰もが利用しやすい施設環境、安全面を確保します。

さらに、当地域の歴史・文化的な資源であり、緑の拠点でもある三溪園や本牧山頂公園、コミュニティハウス、横浜市八聖殿郷土資料館、地域ケアプラザ、イオン本牧店等と連携した世代間交流事業が望まれていることは、この地区ならではの特性であり、これまでも地域諸団体と連携し事業構築にあたってきました。その他、「環境」や「防犯対策」等に住民の関心が寄せられています。これらの地域特性やニーズを着実に汲み取り、施設運営にあたります。

なお、地域ニーズは毎年変わる可能性がありますので、利用者との会話やアンケート等を継続的に実施します。また、当社のスタッフの多くが地域住人のため、日常生活で感じる課題等を引き続き収集し、当施設の管理運営に反映していきます。

また、コロナ後も高齢者を中心に団体活動等への戻りがまだ低調であり、人とのふれあい、交流の場の創出に取り組めます。

- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

中図書館やオリブ工房他公共施設や公共で主催されるイベントに参加し、レクリエーション活動を実施することにより、地区センターの事業に興味を持っていただくように交流事業を実施します。また、本牧地区センターを拠点とする団体を実施するアウトリーチ活動を支援することで、広域的な地域コミュニティを創出します。

災害時には、中図書館やオリブ工房と連動した避難誘導等が実施できるように、防災訓練を実施し、有事に備えます。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

① サービス提供に関する基本的な考え方

利用者サービスは、利用者ニーズに応えることで向上するものでありますが、利用者数に反映しなければ、実施した労力が意味をなさないものになってしまいます。的確な利用者ニーズの把握を行うとともに、入念な実施計画を作成し、サービス向上に努めます。

② 施設の利用に関する取扱いについて

地区センター業務全体を利用者の視点に立って分析し、「公平公正の観点」及び「人権への配慮」等の複数の事象を考慮して、事業の効率化を図ります。優先枠や減免については、条例・規則・利用要綱に則り、運用いたします。対象とならない申請は、ルールとその意義を十分に説明し理解を求めます。

また、営利目的、設置目的に反する利用については、的確な説明を行い、理解をいただいた上で利用の制限を行います。

③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障がい者が安心して利用していただくために、職員・スタッフの社内外講習・資格取得支援・多様な施設間交流講習に積極的に参加し、サービス向上に努めます。

また、地域住民のニーズに対応した自主事業を企画・実施することにより、新たなコミュニティ創造に貢献します。このため、年度初めに計画した自主事業を、その時点でのニーズに対応するために適宜変更することで、より利用者ニーズに近づけるよう柔軟に対応します。

④ ご意見、苦情及び情報公開の取り扱いについて

利用者のご意見・ご要望を多方面で受け取り、真摯に改善・反映します。利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くのご要望をお聞きし、収集した情報を分析・評価・検討することにより、あらゆる角度から実現の可能性を模索し、具現化する体制を構築いたします。

情報公開については、横浜市情報公開制度に即した「本牧地区センター個人情報保護マニュアル」を作成し、広く情報公開を行います。また、情報開示請求があった場合には、横浜市の情報公開規程に則り、「本人・代理人確認」、「開示等受付報告書」による受付、「要求事項への可否審査」等を確実に実施し、個人情報の取り扱いを厳重に行います。なお、利用案内・利用要綱・事業計画・事業報告書等は、地区センター窓口、ホームページ等で、常時、閲覧が可能な状態にします。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(4) 施設の経営に関する基本方針について

① 本年度の運営に関する基本方針について

利用率向上に伴う利用料金収入を基本とし、新たなサービスを企画・実施します。幅広い事業展開を行うとともに、地区センター管理運営方針に即した魅力ある自主事業及びイベント等を開催いたします。

- 地域住民の自主的活動および相互交流を深める場としてのサービスを提供します。
- 公平公正な管理と利用者サービスの向上を図ります。
- 自治体、地域諸施設、自治会、学校他と連携し、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 誰もが参加しやすい自主事業を実施します。
- 不具合箇所の早期発見、早期補修に努め、今後もより快適な施設となるよう館内の設備修復を計画的に行います。
- 社会的要請に努めます。令和5年度は横浜市が令和4年度全国初の試みとして開始したお薬シート回収BOXの本格化に伴い令和5年9月にBOXを大型化し回収増に取り組んでいます。また、横浜市の Zero Carbon Yokohama の一環として、令和6年1月より全館LED化し、省エネに努めています。

② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

5つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】【ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム】【JISQ15001 (個人情報保護マネジメントシステム)】の手法とPDCAを活用し、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化・効果の最大化を図ります。

経費節減については、総合ビルメンテナンス業及び指定管理業務の経験を生かし、ハード及びソフトの両面から計画的にコストの縮減を行います。また、他の地区センターや類似施設のベンチマーキングにより、有効な手段を取り入れ、コスト削減を促進する体制を継続します。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

環境保全の取り組みとして、「地球環境の保全」という大きな視野に立って対応して参ります。特に、横浜市は「Green Expo 2027」の開催地であり「横浜みどりアップ計画」に沿い、自然に親しむ自主事業の講座・イベントやグリーン購入の促進、緑のカーテンの設置等を推進します。

年間指定管理経費に余剰金が発生した場合は、老朽化設備・備品の更新を積極的に行い、利用者が快適に施設を利用できる環境を整備いたします。さらに弊社が管理する指定管理施設と同様に余剰金の一部を、慈善活動としての寄附又は横浜市の緑化団体等(横浜市協働の森基金、横浜サポーターズ寄附金、横浜市市民活動推進基金等)に寄附し、地域環境の改善に貢献します。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

① 職員の配置及び採用について

令和6年度の職員配置については、令和5年度の体制を継続します。また職員の雇用については、ボランティア活動に興味のある地域の方の中から弊社の理念及び提案内容にご理解いただける方を採用いたします。採用活動は広報により公募を行い、欠員中は公の施設管理経験がある本社職員又は地区センター就業経験5年以上の職員を配置し、業務に支障をきたさない管理運営を行います。

職員配置

館長	: 1名
副館長	: 2名
コミュニティスタッフ	: 12名
クリーンスタッフ	: 2名

② 職員の研修計画について

利用者が悩みや勉強等の相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障がい者が安心して利用できるように、社内外講習・資格取得支援・多様な施設間交流講習に積極的に参加し、その効果測定を実施するとともに、参加できなかった職員・スタッフへ研修内容の共有化を行います。研修は休館日に実施し、職員全員が参加できる勤務体制を継続します。

③ 個人情報の保護の措置について

「個人情報取扱事業者」として「個人情報保護に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。また、守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。

「本牧地区センター個人情報取扱マニュアル」の職員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底します。

館長を個人情報保護責任者とした上で、取扱担当者を決定し、個人情報の保管期間、保管方法、および消去方法等の措置について、館長から取り扱い担当者に指示します。また、内部監査員による抜き打ちチェックを実施し、管理の徹底を図ります。

さらに、清光社として「ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム」を認証取得し、本牧地区センターを適用事業所としていますので、第三者機関による監査等、機密情報の取扱に関する社内体制を継続します。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(6) 緊急時対策について

① 防犯、防災の対応について

施設の管理運営においては、施設利用者の事故や施設内での不審者・不審物等の発見、自然災害発生による被害等、さまざまな緊急事態が想定されます。

当施設は不特定多数の方が利用する施設のため、施設内外のリスクの洗い出しや日常巡回の徹底等により事故・犯罪等の発生予防につなげます。施設設備の故障に関しては、定期点検と日常点検による早期発見に努力し、施設管理者である中図書館と連携して早期解決を図ります。具体的には以下のとおりです。

- 職員による1日3回以上(開館時・開館中・閉館時)の施設内外の見回りや、6S活動を引続き推進します。
- 巡回時はチェック表を活用し、設備故障、利用者の事故、不審者等の早期発見に努めます。
- 忘れ物や盗難等にも注意を払い、注意喚起の掲示を行います。
- 巡回中に設備等の故障を発見した時は利用者への危険性に応じて迅速に補修や安全対策を行います。
- 施設巡回や点検・清掃作業時に気づいた点は、毎日の業務日報や「危険源改善箇所申告書」に記載し、早期改善を図ります。

② その他緊急時の対応について

(ア) 初動対応

利用者の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市及び中区担当窓口への連絡、災害時のレベルに準拠し指定管理者職員および勤務時間外職員の招集を行い、救援活動拠点機能を確保します。令和6年2月に消防訓練(通報、初期消火、避難誘導、救急車対応)を実施しました。

(イ) 二次災害の防止

建物・構築物の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。

(ウ) 救急救命スキルの維持

横浜市消防局の方にご指導頂き、職員及びスタッフ全員が「救急救命講習」を受講しました(令和2年8月)。令和5年7月に全員が資格更新講習を受講し、今後も継続的に技術の向上を図ります。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

(7) 施設の保全について

施設維持管理の主体者である中図書館と連携し、緻密な業務計画を策定・実施します。また、詳細な記録及び調査を行い、確実な業務改善を実施します。

① 建物・設備等の保守点検について

不具合箇所の早期発見・早期補修により設備機器の長寿命化・エネルギーコストの削減を実施します。また、日常点検時・定期点検時において発見された不具合については、不具合状況をデータ化するとともに、必ず臨時補修を施し、安全性を確保いたします。

なお、機器の安全性・経済性を考慮した結果、建築物並びに機器の更新が必要な場合には、中区地域振興課並びに施設管理者である中図書館のご担当者と協議を行います。

② 清掃業務について

常に快適な状態を確保できるよう、6Sを徹底するとともに、乳幼児や高齢者、障がい者の視点に立って施設内を点検し、清掃管理の改善を行います。日常清掃を実施することで、衛生美観の長期維持を図ります。トイレ等は特に、伝染病等の感染リスク低減のため除菌清掃の徹底を図ります。インフルエンザやノロウイルス感染の原因になる嘔吐物に関しては、迅速に処理を行い、拡大を防止するとともに、流行時には稀釈した塩素系溶液にて清掃を行い拡大予防に努めます。入口でのアルコール消毒液の常設を継続します。

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

① 自主事業について

近隣の施設と連携するとともに、地域住民をはじめとした人と人との交流を育み、つながりを深める拠点としての役割を果たすとともに、横浜市中期計画基本戦略「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」に沿い、中区の目指す姿「オール中区」の一翼を担うことを目標に、自主事業運営を行っていきたいと考えます。

② 自主事業の運営方法について

地域住民の自主的活動の援助及び新たな地域コミュニティの創造、地域住民の相互交流、地域課題の解決を目的として開催し、講師はできる限り地元に住む方に依頼をいたします。また、近隣施設と連携することにより、小額の参加費で魅力ある自主事業を計画し、年齢・性別を考慮した幅広い層が参加できるよう実施いたします。また既存団体・サークルの自主的活動及び相談・広報支援を行い、幅広い活動のサポートを行うとともに、地区センターで実施する自主事業を協働で行い、新たなコミュニティ創造の可能性を模索します。このため、本計画書に添付した自主事業計画書をもとに、お客様のニーズに対応するために適宜変更を行い、最大効果が得られるよう実施します。

③ PRの強化について

近隣施設へ出張し実施するアウトリーチ活動や近隣施設連携事業の主軸を担うことにより、より一層本牧地区センターの事業をアピールします。

地元自治体及び小中学校へも積極的に出向き地区センターの事業のアピールと共に地域課題の情報を収集します。

本牧地区センターだよりや専用のホームページを活用し、より多くの方に本牧地区センターを知っていただく機会を設けます。具体的施策としては以下の通りです。

- 本牧地区センターだより・広報よこはま なか区版・イベントお知らせちらしの地区センター内掲示、町内会回覧・掲示板への依頼を行います。
- 本牧地区センターだよりやホームページで利用者団体を紹介することで、サークル活動への参加促進や本牧地区センター利用の誘導を行います。
- 地元紙・地元 FM 局をはじめ、各種媒体に事業活動内容の掲載依頼(ブリーフィング)を実施します。
- 本牧地区センターだよりやホームページのお知らせを効果的に使用し、本牧地区センターや地域の情報掲載を増やすことで、地域との連携を強化します。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(目標 稼働率 56%)

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(目標 利用料金収入 4,230,000 円)

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

令和5年度稼働率は、優先予約制度の廃止や中スポーツセンターの再開などにより前年度より減少しましたが、令和6年度は大型行事による裾野拡大や自主事業の事後サークル化促進、サークル活動の掘り起こし等に取り組み、稼働率の向上を目指します。

目標稼働率:56%(コマベース)

また、ネット予約の利便性向上やスタッフの接遇レベル向上等のサービス向上、利用者が主体となる活動を応援していくことで、稼働率向上に引き続き取り組みます。同時に稼働率の低い和室や料理室利用の講座を強化・推進してまいります。

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

令和6年度利用料金収入目標 4,230,000 円を目指します。

利用率向上・利用料金収入増のため、スタンプカードの導入については、特別優先枠を継続している利用者へのメリットがないため継続検討課題とします。

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の取り組みについて

「子育て支援」「シニア支援」「青少年育成」「環境保全」等の地域の課題を改善するための自主事業を展開するとともに、「異世代交流」「異文化交流」の場を提供し、地域の解決に結びつけます。横浜みどりアップ計画関連の事業も継続して実施いたします。

例年実施している、子育て支援事業やシニアの健康・生きがいづくり、また子どもから大人まで楽しめる吹奏楽コンサート、読書の日イベント、各種料理講座、小中学生を対象としたわんぱく事業等、地域の方々を講師にお迎えし、誰でもが参加しやすい講座も継続して開催します。地域の祭りやイベントにも積極的に参加・協力し、活気ある町づくりの一助を担います。

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

提案内容を精査し、目標達成を意識した進捗管理を行います。利用要綱が変更になる案件に関しては、地区センター委員会及び利用者会議に諮り、計画を推進いたします。

■地区センターまつりの実施

令和5年11月に4年ぶりに地区センターまつりを開催し大盛況でしたが、令和6年度も引き続き実施し、地域に親しまれる館を目指します。

■その他大型イベントの実施

大型のイベントとして、地区センターまつりに加え、防災イベント、コンサート開催の他、共催型の施設スタンプラリーや本牧かぼちゃまつり、ライトアッププロジェクト等への参画により、ファンづくりを推進します。

■コロナ禍の飲食制限の解除

コロナ禍で制限していた飲食制限を令和6年4月より一部スペースを除いて解除します。

以上

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
防災運動会（仮称）	【目的】 昨年の防災スタンプラリー同様、地域の皆さんに防災に対しての備えの必要性を体を動かしながら体験。 	6月 1回
	【内容】 横浜市大の学生企画と共催事業として実施。近隣消防団協力のもと、起震車体験や障害物競走や借り物競争・綱引き等を通じ、いざという備えを始めるきっかけ作りとして実施します。	青少年育成 地域交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜みどりアップ計画 市民が森に関わる きっかけ作り事業	【目的】 大都市でありながら多くの樹木林や農地などを有する横浜。この緑豊かな地を次世代に引き継ぐために市民が横浜の緑・まち・未来を考えるきっかけを様々な企画で提案します。 	5月～3月 10回
	【内容】 一番身近な森である山頂公園で「森林ヨガ」や「焼き芋焼けた」等で森の恵みを満喫します。横浜市の取組みを周知「横浜市民の森への大人の遠足」実施します。	環境保全 地域交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体・地域・ 地域連携 作品展示	【目的】 地区センターならではの立地を生かし、日頃の活動の成果発表の場を共催事業としても提供。季節を感じる飾り付け等で願い事等を募ります。展示を通じ地域交流の一端を担います。 	4月～3月 30回
	【内容】 ピロティ市民ギャラリー・ロビーショーケースで各団体や近隣小学校の作品展示。スペースを活用したメッセージボード。また近隣施設の協力のもと近隣施設3館での合同作品展を実施します。	青少年育成 地域交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
蝶の不思議を知ろう プロジェクト	【目的】 翅の模様が鮮やかな大型の蝶で、長距離を移動する「旅する蝶～アサギマダラ～」を山頂公園に！を目標に草花や生態を知り身近な自然の実態と維持を再確認します。 	6～11月 3回
	【内容】 蝶の生態や食草の学びの講義は当館で。草花の整備や育成は山頂公園（公園愛護会の活動含め）で。それぞれの施設の特性を生かし長期的な計画でアサギマダラを呼ぶプロジェクトを始動します。	地域交流 環境保全

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
レディース脳トレ 麻雀	【目的】	麻雀を通じて脳の活性化（脳トレ）と健康と生きがい作り・仲間づくりをサポートします。事後サークル設立やゆくゆくは子ども達とのゲームで異世代交流も図ります。 	4～3月 20回
	【内容】	女性初心者限定。牌の種類や名称・ゲームについて・牌の組み合わせ等 丁寧に繰り返し行うプログラムで学びます。相手の出方を推理したり、手や指を動かすことで脳の活性化を促します。今年度は一部サークル化を目指します。	シニア支援 健康増進 異世代交流
大人の学び直し講座 古典文学に親しむ	【目的】	生涯にわたって様々な見識を得ることにより、住民一人一人が生き生きと豊かな暮らしを育む事業を展開し、何かを始めるきっかけ作りを意識した学び講座を実施します。 	6～3月 10回
	【内容】	古典文学・語学・科学・歴史など 時間の余裕が出来た今だからこそ始める。「奥の細道」「拾遺和歌集」を学びます。	シニア支援 生涯学習
大人の学び直し講座 地元の歴史を知る	【目的】	生涯にわたって様々な見識を得ることにより、住民一人一人が生き生きと豊かな暮らしを育む事業を展開し、何かを始めるきっかけ作りを意識した学び講座を実施します。 	4月～3月 12回
	【内容】	古典文学・語学・科学・歴史など 時間の余裕が出来た今だからこそ始める。知っているようで知らない地元の歴史。過去の歴史と現在の本牧が繋がる講座です。	シニア支援 生涯学習
高齢者いきいき支援 ヴォイストレーニング	【目的】	健康と深い関わりがある発声。喉に負担をかけずに通る声を出すコツをプロの音楽家から学びます。意識を少し向けてあげることで、ストレス解消をはじめとして、脳の活性化や認知症予防、健康増進を目指します。 	4月～3月 36回
	【内容】	声を出しやすい簡単ストレッチや心地の良い楽器の音色と共に音楽を通じて喉のトレーニングを行います。 ※引続き、感染症対策として事前申込制・時短・発声→ハミングを中心に実施します。	シニア支援 健康増進

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者いきいき支援 初心者スマホ講座	【目的】スマートフォンで何が出来るのか。使いこなすと何が便利なのか？料金は？日常生活で安心して使う為に実施します。 	7～10月 6回
	【内容】月毎にテーマを決めて行う講座と参加者の質問（わからない操作・解り難い操作）に対応する講座を繰り返し行います。今年度はボランティアサポート対応も行い、より分かりやすいを目指します。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者いきいき支援 マネー講座 税務相談	【目的】自分と家族を守る安心して老後を迎える為に実施します。 	2月 1回
	【内容】相続・終活など、気になる税務に関する様々な疑問やお困りごとを、それぞれのプロ（税理士・会計士・司法書士）から法制度を学びます。個別相談の機会も設けます。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり講座 サークル体験	【目的】無理なく今ある筋力を維持する・毎日を健やかに過ごす・健康寿命を延ばすための運動を中心に各講座を実施します。 	7～12月 10回
	【内容】基礎体力を付ける・コアの筋肉を鍛える。運動習慣の無い方に興味を持って頂ける様な講座や地区センターで活動中のサークル活動を紹介・体験してもらい定期的な運動習慣を身につけて頂きます。	シニア支援 健康増進

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり講座 お仲間づくり サークル化を目指して	【目的】無理なく今ある筋力を維持する・毎日を健やかに過ごす・健康寿命を延ばすための運動を中心に各講座を実施します。 	4～12月 10回
	【内容】基礎体力を付ける・コアの筋肉を鍛える。運動習慣の無い方に興味を持って頂ける様な講座を実施。仲間づくりサークル化を目指します。体幹を意識してピラティス・体の歪み、痛み解消体操等。	シニア支援 健康増進

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
ママフィットネス	【目的】	日々子育てに奮闘する保護者の方へ、心身ともにリフレッシュ出来る時間を提供する子育て応援の講座です。 	10～12月 4回 子育て支援 健康増進
	【内容】	産後の運動不足解消。体のコリや肩・腰等の痛みの不調を予防・改善します。ママと赤ちゃん抱っこでダンスなどスキンシップも図ります。	

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
キッズダンス	【目的】	元劇団四季俳優の楽しい指導で、子どもたちのやる気を引き出します。 	4～11月 8回 子育て支援 健康増進
	【内容】	豊かな表現力やリズム感が身につくダンスレッスンです。音楽に併せて自然に身体が動くように、身体を動かす楽しさを提案します。	

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
体験ミュージカル	【目的】	元劇団四季俳優による演劇ワークショップ。コロナ禍で様々な制限の解除と共に、身体と声を使って表現する楽しさを体験してもらいます。 	6月 4回 子育て支援 健康増進
	【内容】	年齢・性別・国籍・人種・障害の有無に関わらず、誰でも参加できるワークショップ。とにかく楽しく！を俳優が使うウォーミングアップやシアターゲームを中心に実施します。	

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
親子で遊ぼう	【目的】	親子のスキンシップを目的として親子で身体を動かし、絆を深めていただきます。保護者同士の交流の場を活かして、子育ての孤立感と負担の軽減を図ります。 	10～3月 3回 子育て支援 地域交流
	【内容】	地域で活動中の講師により、楽しい歌や音楽に合わせて動くことで、子どもの心身の発達を促していきます。	

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て相談	【目的】 出産前後の不安や子育てに関する様々な悩み等の相談を行います。ママ同士の交流の場を創出することで、子育ての孤立感と負担の軽減を図ります。 	4～3月 40回
	【内容】 新米ママ・パパ（お母さん・お父さん）たちの子育ての悩みにアドバイスや保護者間の交流を図ります。	子育て支援 地域交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱく事業 お絵描き教室	【目的】 子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。表現力や創造力等の感性を刺激して子どもの成長を促します。 	7～8月 3回
	【内容】 講師の指導のもと、絵を描くことで子ども達の感性の豊かさを育みます。	地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜みどりアップ計画 わんぱく事業 夏休み 工作教室	【目的】 子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。小学生のうちから「手づくり」の良さ・楽しさに慣れ親しむ機会を作ります。講師やお友達とコミュニケーションをとりながら創造力を育てます。 	7～8月 3回
	【内容】 横浜市の森から排出された間伐材を活用した額に山頂公園を散策して集めた木々の枝や葉っぱを使い、子ども達の表現力や創造力を刺激して工作を行います。	地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 つながる本牧つなげる 未来へライトアップ プロジェクト	【目的】 神奈川県無形民俗文化財「お馬流し」の兼行に合わせて実施。地域の伝統ある行事に参加する意識を高め、未来への願いを込めて子どもたちと街の一体感を育みます。 	7～8月 1回
	【内容】 「お馬流し」を知らない子どもたちも多く八聖殿郷土資料館館長から本牧神社についてお話し、地域の伝統行事を次世代に身近に感じ引き継ぐ為にも参加しやすいペットボトルランタンワークショップを行います。	青少年育成 地域交流 文化伝承

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱく事業 体験マジック	【目的】子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。表現力や創造力等の感性を刺激して子どもの成長を促します。 	5月・8月 2回 青少年育成
	【内容】連休や夏休み期間を有効活用し、子ども達の表現力や創造力を刺激した体験型マジック講座を開催します。	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱく事業 地域・施設連携 本牧かぼちゃまつり	【目的】地域の商店が主体となり、本牧の歴史に新たなお祭りが生まれ回を重ねています。本牧らしさをアピールするとともに街への愛着も深めます。 	10月 1回 青少年育成 地域交流
	【内容】仮装&スタンプラリー「本牧かぼちゃまつり」を開催。当館では関連事業（料理教室・菓子作りやマスコット作り）を実施し雰囲気盛り上げます。当日はスタンプ拠点として参加します。	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱく事業 地域・施設連携 焼き芋焼けた&森の恵 みのおもちゃ作り	【目的】本牧山頂公園はじめ、キャンプの出来る広場管理スタッフ協力のもと、落葉拾い・焚火・焼き芋・ゲーム・工作等を行い、自然の中で地域の子どもたち・親子の交流を深めます。 	11月 1回 青少年育成 地域交流 環境保全
	【内容】地区センターから本牧山頂公園キャンプの出来る広場に落葉拾いをしながら向かいます。集めた落ち葉と釜を使用して焼き芋を作ります。深まりゆく秋を感じる事業です。横浜みどりアップ計画も採り入れ親子に森を身近に感じるおもちゃ作りや遊びを提案します。	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 おもちゃの病院	【目的】物（おもちゃ）の仕組みを知ることによって物作りの素晴らしさや難しさを理解し、物を大切にすることを学びます。 	5～11月 3回 青少年育成 環境保全
	【内容】「中区おもちゃのドクターネットワーク」の皆さんに協力頂き、壊れたおもちゃを修理。壊れた原因や質問にも対応します。	

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わんぱく事業 料理教室	【目的】子どもたちの現在の生活の充実と将来の成長を支援します。調理を通じ食生活の重要性や栄養について学びます。 	7～8月 2回
	【内容】連休や夏休み期間を有効活用し、お菓子づくりや防災食作りに取り組みます。	食育 青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成人向け料理教室	【目的】料理のレパートリーや知識を増やす。仲間を増やす。健康な身体作りを目指す。料理室利用の活用、周知を含めて様々なテーマで料理教室を開催します。 	4～3月 4回
	【内容】初心者でも楽しみながら調理できるレシピを学びます。季節のイベントに合わせた献立、おもてなしの献立。和洋中そしてお菓子とバラエティにとんだ献立で実施します。味噌作り・みゆき先生のしあわせレシピ・男の料理教室等。	地域交流 健康増進

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中高生向け料理教室	【目的】初心者でも楽しみながら調理できるレシピを主に道具の使い方や栄養素・献立の立て方など料理の基本について学びます。 	10～3月 2回
	【内容】講師からのアドバイスを受けながら、自分たちで自主的に献立を考えて調理する出来るようになる。を目標に実施します。	食育 青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子料理教室	【目的】子どもと保護者を対象とした料理教室。食の大切さを調理を通じて伝えます。 	3月 1回
	【内容】季節やイベントを意識した調理を主におやつやご飯作りを実施。管理栄養士の指導。栄養素についても学びます。	食育 青少年育成

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
<新規企画> 大人の学び直し講座 食品添加物について	【目的】 生涯にわたって様々な見識を得ることにより、住民一人一人が生き生きと豊かな暮らしを育む事業を展開し、何かを始めるきっかけ作りを意識したイベントを企画します。	12～1月 2回 生涯学習 食育
	【内容】 普段何気なく口にしている食品に使用されている添加物について、改めて学び直すきっかけを提供します。	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 なか区スタンプラリー	【目的】 中区民利用施設：多くの方に中区内の施設を知って頂く機会を創出します。企画段階から積極的に参加し、より成果のある企画に協力します。ぶらりHONMOKU：本牧方面の施設連携事業、地元をよりよく知って頂くきっかけ作り。	4～11月 2回 地域交流 異世代交流 青少年育成
	【内容】 各施設が集中する本牧の立地を生かし、中区主体のスタンプラリーを基に本牧地域限定で実施します。知っているようで知らなかった本牧の施設を訪ねる機会を提供。	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 おはなし会 読み聞かせ	【目的】 絵本等の読み聞かせによって子どもたちの心の育成、想像力等の感性を養います。自主事業「読み聞かせ養成講座」、受講修了者「本もく座」の活動発表の場でもあります。	4～3月 17回 地域交流 異世代交流 青少年育成
	【内容】 「本もく座」による和室でのおはなし会。日本古来の行事・暦をテーマとした絵本の紹介や読み聞かせ・紙芝居・歌（童謡）や「えほんの森」によるプレイルームでの絵本の読み聞かせ・わらべ歌等「こぐまの部屋」も実施します。	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 親子のおはなし会 & クラフト 怖いおはなし会 & 肝試し	【目的】 通常の読み聞かせにプラスしてクラフト（簡単工作）や肝試しなどを通じて絵本や読書の楽しさ、日本の四季を通じた行事を紹介します。	5～10月 4回 地域交流 異世代交流 青少年育成
	【内容】 読み聞かせグループ2団体がそれぞれ担当。七夕飾りやお月見団子、節分の鬼のお面。夏休み中の怖いおはなし会 & 暗闇探索の肝試しなどを実施します。	

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 なか区ブックフェスタ	【目的】 中区読書推進事業の協力を得て、平成28年にスタート。本離れが進む今だからこそ本に出会い、触れる機会を中区から発信します。	10～11月 3回
	【内容】 「本」をキーワードに「絵本の読み聞かせとコンサート」「絵本作り」等 多様な仕掛けで「本」に親しむきっかけ作りを提供します。読み聞かせボランティアの養成も実施します。	
		青少年育成
		地域交流
		異世代交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 コンサート	【目的】 住民の方に向けた日頃の活動の成果発表の場を共催事業として提供。定期開催で住民の方々にも好評です。身近な会場で気軽に本格的な音楽を楽しんで頂き地域交流の一端を担います。	6. 12月 1回
	【内容】 音楽室での初夏の名曲コンサート・体育室でのウインターコンサート等で地域の皆様に気軽に音楽を楽しんで頂ける企画を開催します。	
		地域交流
		社会貢献

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本伝統伝承 プログラム 書道	【目的】 生活の中に根付いていながら成り立ちを知らず、形式だけになっている日本の文化・伝統を改めて基礎から学びます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀や相手を気遣う心も学びます。	10～12月 4回
	【内容】 写経・ペン習字等。小筆を使い一文字一文字、丁寧に。心静かに書と向き合う時間も大切に、バランスの良い文字を書く習慣のきっかけ作り。	
		文化伝承
		生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本伝統伝承 プログラム 茶道	【目的】 生活の中に根付いていながら成り立ちを知らず、形式だけになっている日本の文化・伝統を改めて基礎から学びます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀・相手を気遣う心も学びます。	10～2月 5回
	【内容】 初めてのお茶。お茶立てや立居振る舞い基本動作を学びます。講座を通じて和室の良さを感じて頂きます。	
		文化伝承
		生涯学習

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本伝統伝承 プログラム 和装	【目的】生活の中に根付いていながら成り立ちを知らず、形式だけになっている日本の文化・伝統を改めて基礎から学びます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀・相手を気遣う心も学びます。 	10～2月 5回
	【内容】初心者には浴衣から、和装（着付け）の魅力やマナー・着付けのコツについても学べる内容。利用団体（サークル）体験も含め実施します。	文化伝承 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
マネー講座 親子マネー講座	【目的】市民が知識を身につけて、豊かな暮らしを営むことを応援します。お金の知識を得て、お金（マネー）に関して練習（エクササイズ）しましょう。 	8月 1回
	【内容】親子で参加していただく事ができ、ゲームや模擬体験（お店屋さんごっこ等）お金についてや働くことについて分かりやすい講義を行います。	青少年育成 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
アート&クラフト	【目的】手間暇かけて作り上げる手作りの良さ・楽しさを再確認。新しい発見を提供します。様々な物作りを通じて共通の趣味を持つ方の仲間づくり。サークル設立の誘導も行います。 	8～2月 5回
	【内容】絵画（水彩画、デッサン等）手芸（キルト、古布や着物地を利用したエコ手芸）で、実用品や季節を彩る飾り等を作ります。連続講座も実施し、作品作り・物作りを通じて地域の仲間作りの一端を担います。	生涯学習 シニア支援 地域交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
なか区民活動センター 連携事業 なか区街の先生 オープン講座	【目的】なか区民活動支援センターと協力のもと、人材ボランティアの活躍の場の提供し、区民への周知を図ります。 	12～2月 3回
	【内容】様々なジャンルで登録されている人材を活用し、多様な体験のきっかけ作りを実施します。	生涯学習 地域交流

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 清光社

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜国際園芸博覧会 PR事業	【目的】 2027年に開催される横浜国際園芸博覧会をより多くの方に知って頂く、自然や植物に関心をもって貰う講座を実施します。 	10～12月 2回
	【内容】 花屋さんの店先が地区センターに！思い思いに花々を選びバランスよく寄せ植えします。長持ちさせるコツや植え替えのタイミング等のアドバイスをプロから学び完成させます	環境保全 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
近隣施設連携 本牧区	【目的】 公共施設はもとより、知っているようで知らない本牧の魅力を多方面から探ります。シリーズを重ね本牧のみならず中区・近隣区、西区や磯子区についても見地を深めます。 	5～3月 4回
	【内容】 本牧所縁の地から範囲を広げ、近隣区や「横浜みどりアップ計画」の1事業として横浜市民の森も巡ります。	地域交流 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
〈復活企画〉 お片付けセミナー& 終活セミナー	【目的】 市民一人ひとりが自由に、自ら選んだテーマを学ぶことで、いきいきと豊かな暮らしを育むことを応援します。シニア世代を対象に、これからの人生を美しく楽に生きるために実施します。 	9～10月 2回
	【内容】 「これからの人生を楽しく生きるために」をテーマに、整理収納や終活についてアドバイスからコツを学びます。	シニア支援 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
本牧地区センター まつり&フリーマーケット	【目的】 施設を開放し、団体・個人の多くの方々に秋の一日を楽しみながら施設について知って頂く機会を創出し、新しい出会いや発見の場を提供します。 	11月 1回
	【内容】 利用団体の発表の場としてステージや展示コーナー、「魚釣りや輪投げ」「アドバルーン」等のワークショップを行います。不用品や手製の品などを持ち寄り有効活用する場を「地区センターまつり」でスペースを提供します。住民同士の交流も期待し実施。	異世代交流 地域交流

横浜市本牧地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 清光社

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
防災運動会(仮称)	どなたでも						
	200						
	0	10,000	10,000	0		10,000	
横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ づくり	子ども~大人						
	100						
	300	150,000	120,000	30,000	50,000	50,000	50,000
活動団体・地域・施設連携 作品展示・文化祭	どなたでも						
	0	5,000	5,000	0	0	5,000	0
地域・施設連携 蝶の不思議を知ろう プロジェクト	小学生~一般						
	20						
	500	11,000	1,000	10,000	10,000		1,000
レディース脳トレ麻雀	一般 女性						
	100						
	6,000	600,000	0	600,000	550,000		50,000
大人の学び直し講座 古典文学に親しむ	一般						
	30						
	500	27,500	12,500	15,000	25,000	0	2,500
大人の学び直し講座 地元の歴史知る	一般						
	100						
	300	30,000	0	30,000	0	30,000	0
高齢者いきいき支援 ヴォイストレーニング	一般						
	600						
	500	330,000	30,000	300,000	300,000	0	30,000
高齢者いきいき 初心者スマホ講座	一般						
	50						
	500	27,500	2,500	25,000	25,000	0	2,500
健康づくり講座 サークル体験講座	一般						
	80						
	500	40,000	0	40,000	0	40,000	0
健康づくり講座	一般						
	20						
	4,000	88,000	8,000	80,000	80,000	0	8,000
ママフィットネス 保育付き	産後のママ						
	8						
	3,000	27,000	3,000	24,000	20,000	5,000	2,000
キッズダンス	小学生						
	30						
	2,500	77,000	2,000	75,000	70,000	0	7,000
体験ミュージカル	どなたでも						
	20						
	500	11,000	1,000	10,000	10,000	0	1,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子で遊ぼう	未就学児と保護者						
	50						
	0	10,100	10,100	0	10,000		100
成人向け料理教室	一般						
	50						
	1,500	77,400	2,400	75,000	34,000	40,000	3,400
子ども向け料理・おやつ作り 教室	子ども						
	40						
	500	23,000	3,000	20,000	10,000	12,000	1,000
親子料理教室	一般						
	20						
	500	10,500	500	10,000	5,000	5,000	500
〈新規企画〉 大人の学び直し講座 食品テスト添加物アレコレ	一般						
	10						
	500	5,500	500	5,000	5,000		500
〈新規企画〉 ～中高生向料理教室～ 栄養素から考える私ご飯	中高生						
	20						
	500	17,000	7,000	10,000	10,000	6,000	1,000
地域・施設連携 なか区スタンプラリー ぶらりHONMOKU	どなたでも						
	1,000						
	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000
活動団体協力事業 読み聞かせ	どなたでも						
	150						
	0	51,500	51,500	0	42,000	5,300	4,200
活動団体協力事業 親子のおはなし会&クラフト	未就学児と保護者						
	32						
	250	8,600	600	8,000	6,000	2,000	600
活動団体協力事業 おもちゃの病院	どなたでも						
	100						
	0	11,000	11,000	0	10,000	0	1,000
地域・施設連携 つながる本牧つなげる未来 ヘライトアッププロジェクト	どなたでも						
	300						
	0	5,000	5,000	0		5,000	
子育て相談(子育て支援)	新生児～未就学児と保護者						
	200						
	0	0	0	0	0	0	0
わんぱく事業 お絵描き教室	幼児から小学生						
	12						
	500	6,500	500	6,000	5,000	1,000	500
わんぱく事業 夏休み工作教室	幼児から小学生						
	20						
	500	10,500	500	10,000	5,000	5,000	500
わんぱく事業 地域・施設連携 本牧かぼちゃまつり	子ども						
	200						
		5,400	5,400	0		5,000	400

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
わんぱく事業 体験マジック	小学生から						
	20						
	500	10,500	500	10,000	5,000	5,000	500
わんぱく事業 焼き芋焼けた& 森の恵みのおもちゃ作り	どなたでも						
	50						
	500	25,500	500	25,000	5,000	20,000	500
地域・施設連携 つながる本牧つなげる未来 ヘライトアッププロジェクト	どなたでも						
	200						
	0	5,000	5,000	0		5,000	
日本伝統伝承講座 茶道教室 初めてののお茶	一般						
	10						
	6,000	60,000	0	60,000	40,000	16,000	4,000
日本伝統伝承講座 書道・気軽にペン習字	一般						
	25						
	1,200	30,000	0	30,000	25,000	2,500	2,500
日本伝統伝承講座 和装	子どもから大人						
	20						
	500	11,000	1,000	10,000	10,000		1,000
活動団体協力事業 コンサート	どなたでも						
	200						
	0	0	0	0	0		0
マネー講座 税務・終活・相続相談	一般						
	60						
	0	0	0	0			
横浜国際園芸博覧会PR事業 植物について学ぶ 季節の寄せ植え	一般						
	50						
	2,000	100,000	0	100,000	10,000	80,000	10,000
施設連携 本牧IX	一般						
	20						
	300	6,000	0	6,000	0	0	6,000
マネー講座 親子マネー講座	幼児から小学生と保護者						
	20						
	0	0	0	0	0	0	0
高齢者いきいき講座	一般						
	50						
	100	33,000	28,000	5,000	30,000	0	3,000
アート&クラフト	一般						
	50						
	2,000	100,000	0	100,000	50,000	45,000	5,000
なか区民活動センター連携事業 なか区街の先生 オープン講座	子どもから大人						
	30						
	0	10,000	10,000	0		10,000	
お片付けセミナー& 終活セミナー	一般						
	12						
	500	7,000	1,000	6,000	5,000	1,500	500

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
本牧地区センターまつり	どなたでも						
	1,000						
	50	51,000	1,000	50,000	10,000	40,000	1,000
地区センターまつり フリーマーケット	一般						
	15						
	1,000	15,000	0	15,000		15,000	
			0	0			
		0	0	0	0	0	0
合 計		2,150,000	350,000	1,800,000	1,472,000	466,300	211,700

横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名

株式会社 清光社

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
	【目的】		月回
	【内容】		地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
	【目的】		月回
	【内容】		地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
	【目的】		月回
	【内容】		地域交流

事業名	目的・内容等		実施時期・回数
	【目的】		月回
	【内容】		地域交流

子育て支援
健康増進
シニア支援
社会貢献
地域交流
異世代交流
環境保全事業
青少年育成
生涯学習
団塊デビュー
文化伝承
継続事業
食育
わんぱく事業
緑化事業

令和6年度 本牧地区センター 収支予算書兼決算書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	23,690,000		23,690,000		23,690,000	横浜市より
緊急雇用創出事業経費			0		0	
利用料金収入	4,230,000		4,230,000		4,230,000	
自主事業（指定管理料充当）収入	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	875,000	0	875,000	0	875,000	
印刷代	45,000		45,000		45,000	
自動販売機手数料	560,000		560,000		560,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他(カラオケ他貸出備品)	270,000		270,000		270,000	
収入合計	30,595,000	0	30,595,000	0	30,595,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,979,000	0	22,979,000	0	22,979,000	
給与・賃金	20,909,000		20,909,000		20,909,000	館長・副館長及び時給職員17名
社会保険料	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
通勤手当	300,000		300,000		300,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	187,000		187,000		187,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	183,000		183,000		183,000	
事務費	1,271,000	0	1,271,000	0	1,271,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	出張旅費
消耗品費	100,000		100,000		100,000	事務消耗品費
会議ठीい費	15,000		15,000		15,000	
印刷製本費	160,000		160,000		160,000	
通信費	359,240		359,240		359,240	データ通信費、電話代、郵送料等
使用料及び賃借料	122,760	0	122,760	0	122,760	
横浜市への支払分	122,760		122,760		122,760	目的外使用料等
その他	0		0		0	
備品購入費	70,000		70,000		70,000	1件30千円以上の什器備品
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	33,000		33,000		33,000	傷害賠償保険他
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	講師外部委託費用等
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料	131,000		131,000		131,000	
手数料	230,000		230,000		230,000	口座証明、第三者評価他
地域協力費	10,000		10,000		10,000	地域イベントの協力費等
事業費	2,150,000	0	2,150,000	0	2,150,000	
自主事業（指定管理料充当）費	2,150,000		2,150,000		2,150,000	
自主事業費			0		0	
管理費	608,000	0	608,000	0	608,000	
光熱水費	100,000	0	100,000	0	100,000	
電気料金	100,000		100,000		100,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	0		0		0	日常・定期清掃費
修繕費	300,000		300,000		300,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	208,000	0	208,000	0	208,000	
空調衛生設備保守	8,000		8,000		8,000	ウオータークーラ水質検査
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	200,000		200,000		200,000	ゴミルート回収他
共益費	0		0		0	
公租公課	2,230,000	0	2,230,000	0	2,230,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,230,000		2,230,000		2,230,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費	360,000	0	360,000	0	360,000	
本部分	360,000		360,000		360,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費	997,000	0	997,000	0	997,000	ネット予約経費を含む
支出合計	30,595,000	0	30,595,000	0	30,595,000	
差引	0	0	0	0	0	

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価
利用者サービス	(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映			
	■利用者ニーズの把握方法(P.12)			
	●ご意見箱・横浜市民の声/随時			
	●アンケート 利用団体/随時 利用者/年1回			
	●会合への参加(自治会等)/年2回			
	●中区他施設との情報共有			
	■苦情対応体制の構築と苦情対応(P.12)			
	●苦情対応マニュアルの更新/年1回			
	●苦情等のデータ化/随時			
	業務運営	オ 利用者サービス向上の取組(P.12)		
■全職員の資質向上による利用者対応				
●業務マニュアルの更新/年1回				
■施設の魅力向上・利便性向上の取組み				
●お湯ポットの設置				
●空気清浄器の設置/プレイルーム				
●不用品交換の掲示板設置				
●チェス・UNO・知恵の輪、等の無料貸出し				
●健康やボランティアに関する情報を整備				
●障がい者によるパンの販売 (オリブ工房からの出張販売)				
●血圧測定器・体重計の設置				
■快適な利用環境の提供				
●巡回清掃/日3回、6S活動の徹底				
●塩素系溶液による清掃/随時 (主に茶器、什器備品)				
●老眼鏡の設置				
●受付に耳マーク・筆談機の設置				
■無料Wi-Fiスポットの設置				
●設備更新による接続環境の改善/対象年齢の見直し				
(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制				
■管理運営体制				
●館長/1名				
●副館長/2名				
●コミュニティスタッフ/12名				
●クリーンスタッフ/2名				
■情報共有と業務品質確保に向けた会議(P.6)				
●朝礼/毎日				
●安全衛生推進会議/月1回				
●運営会議/月1回 (館長・副館長、本社統括担当者等)				
●館長連絡会議/年4回 (清光社主管 地区センター館長会議)				
●地区センター委員会/年2回 初回は35周年記念の利用者合同会議を企画				
●利用者会議/年2回				
ウ 緊急時の体制と対応計画(P.9)				
■施設設備の故障、事故、犯罪等を予防する具体的な計画や体制				
●危険源改善箇所申告書の更新/毎月				
●危機管理マニュアルの更新/年1回				
■防災計画を踏まえた発災時対応や防災への取組み				
●防災訓練の実施/年2回				
●AED講習の受講/全職員、資格全員取得				
●富士山火山活動時の活動用具の準備				
(4)ア 設置理念を実現する運営内容(P.10)				
■目標数値の設定				
●利用者数/年 70,000人				
●稼働率 56% (コマベース)				
●指定管理者有責事項/0件				
■品質確保のセルフモニタリングの実施				
●館長/月1回				
●統括担当者/年1回				
イ 利用促進策(P.10)				
■多様な広報活動・利用促進活動の実施				

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価
	●広報よこはま中区版/毎月			
	●地区センターだより/四半期ごと			
	●ホームページ/随時			
	●ポータルサイト/随時			
	●テレビ神奈川・神奈川新聞、タウンニュース等/随時			
	●ポスティング/随時			
	●施設利用説明会/随時			
	■新規サークル設立支援			
	●新規サークル設立			
	■読書活動推進の取組み			
	●読書フェスティバルへの参加			
	●中図書館との連携			
	●市民読書の日に読み聞かせイベント、夜の読書会(成人対象)を実施			
	■日常運営の創意工夫による利用促進の取組み			
	●期間限定で予約のないロビー(1F,2F)を学習スペースとして開放/随時			
	●季節に合わせた館内装飾(正月、七夕、クリスマス等)			
	●活動条件により利用優先回数を拡大			
	●作品展示・活動発表(地区センターフェスタ以外)の拡充			
	ウ 利用料金の設定について			
	■利用料金設定について			
	●当日の1時間単価貸し			
	■利用促進につなげる割引等の実施			
	●スタンプカード割引の導入 和室、料理室			
	●新規サークル優先予約			
	学割(高校生・大学生学生証の提示10%割引)			
	夜間割引(夜間の稼働率向上の為(10%))			
	住民票等区役所で発行する各種証明書郵送セット			
	印紙、切手の用意			
	キ 本市重要施策に対する取組(P.13)			
	■情報公開			
	●事業計画書/年1回			
	●事業報告書/年1回			
	上記をホームページで公開			
	■環境への配慮			
	●緑のカーテンの設置/夏半年1回			
	●うちわの設置/夏半年1回			
	■市内中小企業優先発注/随時			
	●市内中小企業優先発注/随時			
	■地元中学校の職業体験受入/年1回			
	●地元中学校の職業体験受入/年1回 (個別に対象校にアプローチ)			
	■食育・地産地消の取組み			
	●地元食材を活用した料理教室の実施			
	(5) 自主事業計画			
	■インフォメーションボードの設置(P.14)			
	●ボランティア・サークル団体等の紹介/年1回			
	■本牧地区センターまつりを秋または春に実施。年1回			
	●中図書館・オリブ工房との連携開催			
	■アウトリーチ活動/年1回			
	●山頂公園、本もく座との連携			
	■自主事業計画			
	●年292回(自主事業計画参照)			
	(6) 施設の維持管理計画			
	■維持管理年間作業計画の策定(P.15)			
	中図書館の計画に協力			
	■貸出備品の保守点検業務(P.15)			
	●備品管理簿の照合/年1回			
教育	事業計画書 (3)イ 個人情報保護等の体制と研修計画			
	■個人情報保護責任者の設置(P.8)			
	●館長を個人情報保護責任者として任命			

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価
	■個人情報保護マニュアルの整備と遵守			
	●個人情報保護マニュアルの更新/年1回			
	●理解度チェックテストの実施/年1回			
	●機密保持誓約書の取り交わし/入社時			
	■個人情報漏洩対策			
	●個人情報漏洩賠償保険の加入/年1回			
	■セルフモニタリング・監査の実施			
	●統括責任者/年1回			
	■研修体制・具体的な計画(P.8)			
	●指定管理者知識研修/年1回			
	●人権研修/年1回			
	●接遇向上研修/年1回			
	●個人情報保護研修/年1回			
	●コンプライアンス研修/年1回			
	●サービス介助研修/年1回			
	●障がい者対応研修/年1回 (オリブ工房との連携)			
	●防災訓練・避難訓練・事故対応訓練/年2回			
	●公共建築物管理者研修/年1回			
	●横浜市の事例発表会/年1回			
	●安全衛生管理者会議/年4回			
	■資格取得支援			
	●サービス介助士/1名 (館長の資格取得を目指す)			
	●横浜防災ライセンスリーダー (館長・副館長の資格取得を目指す)			
財務	事業計画 (7)ア 収入計画の考え方(P.16)			
	■収入計画の設定			
	●利用料金/4,230千円			
	●自主事業収入/1,800千円			
	●雑入/875千円			
	イ 増収策について(P.16)			
	■雑入の増収策			
	●文房具の販売	削除		
	●ケータイ充電サービス			
	●バナー広告/2件			
	ウ 支出計画(P.17)			
	■支出計画管理体制の構築			
	●原価管理分析と改善徹底/月1回			
	■自主事業での工夫			
	●魅力ある講座設定と参加料の設定			
	■収入利益の還元			
	●社会福祉協議会等への寄付/10万円			
その他 (上記4つの 視点以外の 項目があれば 追記)	■地域まつり、イベント等への参加			
	●インターネット予約の導入			
	■地域まつり、イベント等への参加 地域活動・イベントへの参加 (さくら祭り、かぼちゃ祭り、お馬流し他)			
利用者等の 意見	■利用者の意見			
	●利用者からの意見・要望はできるだけ迅速に対応			
		ご意見の内容	対応方向	

《自己評価》

A: 計画、目標を上回って実施

B: 計画、目標を保持して実施

C: 計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組(改善計画)欄に意見等に対する対応を記載